

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	2021年10月8日
【四半期会計期間】	第68期第3四半期（自 2021年6月1日 至 2021年8月31日）
【会社名】	アスカ株式会社
【英訳名】	ASKA CORPORATION
【代表者の役職氏名】	取締役社長 片山 義規
【本店の所在の場所】	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地
【電話番号】	0566(36)7771(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 管理本部長 片山 義浩
【最寄りの連絡場所】	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地
【電話番号】	0566(36)7771(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 管理本部長 片山 義浩
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第67期 第3四半期連結 累計期間	第68期 第3四半期連結 累計期間	第67期
会計期間	自2019年12月1日 至2020年8月31日	自2020年12月1日 至2021年8月31日	自2019年12月1日 至2020年11月30日
売上高 (千円)	18,051,712	19,616,931	24,902,897
経常利益 (千円)	333,036	832,933	616,105
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	265,755	735,480	457,730
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	95,196	1,067,103	254,706
純資産額 (千円)	7,315,986	8,351,491	7,475,496
総資産額 (千円)	30,583,651	31,424,884	31,641,344
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	46.55	128.82	80.17
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	23.9	26.6	23.6

回次	第67期 第3四半期連結 会計期間	第68期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自2020年6月1日 至2020年8月31日	自2021年6月1日 至2021年8月31日
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失 (円)	22.71	38.14

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済の情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済や社会活動は制限を受け依然として厳しい状況にあります。景気動向の先行きについては、ワクチン接種の促進に伴う感染拡大の防止策が促進される中、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されておりますが、度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されるなど、景気は依然として不透明な状況にあります。

このような状況のなかで、当社グループは提案型の営業を積極的に展開するとともに、より効率的な製造体制を目指して、技術開発及び合理化活動を強力に推進しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高196億1,693万円（前年同四半期比8.7%増）、営業利益5億8,441万円（前年同四半期比83.8%増）、経常利益8億3,293万円（前年同四半期比150.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億3,548万円（前年同四半期比176.8%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

〔自動車部品事業〕

国内では、新型コロナウイルス感染症により3月までは完成車メーカーの生産ラインの稼働に影響があったものの、4月以降より生産ラインの稼働が増加したことにより、部品売上が増加しました。この結果、当事業の売上高は、145億1,641万円（前年同四半期比17.4%増）となりました。営業利益は、4億5,236万円（前年同四半期比474.7%増）となりました。

〔制御システム事業〕

8月のオリンピック開催に伴い、一時的に主要得意先の非居住建築案件がストップしましたが、他の得意先からの受注が増加した結果、当事業の売上高は、22億426万円（前年同四半期比0.1%増）となりました。営業利益は、固定費の増加により1億1,205万円（前年同四半期比29.3%減）となりました。

〔ロボットシステム事業〕

国内及び海外工場向けの自動化システムの国内受注が減少した結果、当事業の売上高は、22億9,703万円（前年同四半期比26.4%減）となりました。営業損失は、6,694万円（前年同四半期は1億8,740万円の営業利益）となりました。

〔モータースポーツ事業〕

観客を動員したイベントを開催することができた結果、当事業の売上高は、7億198万円（前年同四半期比47.7%増）、営業利益は、1,392万円（前年同四半期は1億5,475万円の営業損失）となりました。

〔賃貸及び太陽光事業〕

太陽光発電及び社内への賃貸売上が減少した結果、当事業の売上高は、3億6,356万円（前年同四半期比4.4%減）、営業利益は、大規模修繕がなかった為、7,139万円（前年同四半期比53.9%増）となりました。

財政状態は、次のとおりであります。

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、91億7,673万円の前連結会計年度末に比べ1億7,272万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が7億6,342万円減少したものの、仕掛品が9億922万円増加したことによるものであります。固定資産は222億4,815万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8,918万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が4億4,225万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、314億2,488万円の前連結会計年度末に比べ2億1,645万円の減少となりました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、122億1,381万円の前連結会計年度末に比べ7億8,899万円増加いたしました。これは主に電子記録債務が3億1,700万円減少したものの未払金等の増加によりその他が11億7,292万円増加したことによるものであります。固定負債は、108億5,957万円となり前連結会計年度末に比べ18億8,145万円減少いたしました。これは主に長期借入金が18億1,443万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、230億7,339万円となり、前連結会計年度末に比べ10億9,245万円の減少となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、83億5,149万円となり前連結会計年度末に比べ8億7,599万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が5億4,437万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、26.6%（前連結会計年度は23.6%）となりました。

(2) 会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」中の会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載について重要な変更はありません。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費は3,673万円であります。なお、当第3四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2021年8月31日)	提出日現在発行数(株) (2021年10月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,715,420	5,715,420	名古屋証券取引所(市場 第二部)	単元株式数100株
計	5,715,420	5,715,420	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2021年6月1日～ 2021年8月31日	-	5,715,420	-	903,842	-	901,555

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2021年5月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2021年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 5,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,708,900	57,039	-
単元未満株式	普通株式 720	-	-
発行済株式総数	5,715,420	-	-
総株主の議決権	-	57,039	-

(注) 証券保管振替機構名義の株式5,000株は、完全議決権株式(その他)欄の株式数に含まれておりますが、同機構名義に係る議決権50個は、同欄の議決権の数には含まれておりません。

【自己株式等】

2021年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
アスカ株	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地	5,800	-	5,800	0.10
計	-	5,800	-	5,800	0.10

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2021年6月1日から2021年8月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年12月1日から2021年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人コスモスによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,698,629	1,643,726
受取手形及び売掛金	4,407,104	3,643,676
商品及び製品	151,972	172,124
仕掛品	1,404,297	2,313,526
原材料及び貯蔵品	337,689	448,588
その他	1,004,309	955,086
流動資産合計	9,004,003	9,176,730
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,021,867	7,821,631
機械装置及び運搬具(純額)	4,022,761	4,023,974
土地	5,750,793	5,782,664
その他(純額)	2,380,818	2,105,713
有形固定資産合計	20,176,241	19,733,983
無形固定資産		
のれん	59,952	23,980
その他	43,116	35,695
無形固定資産合計	103,068	59,676
投資その他の資産		
投資有価証券	1,351,102	1,613,044
その他	1,006,928	841,449
投資その他の資産合計	2,358,031	2,454,494
固定資産合計	22,637,341	22,248,154
資産合計	31,641,344	31,424,884
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,619,150	2,365,823
電子記録債務	1,955,554	1,638,545
短期借入金	1,740,000	1,750,000
1年内返済予定の長期借入金	3,658,218	3,507,702
リース債務	103,715	109,058
未払法人税等	110,976	257,549
賞与引当金	42,089	217,094
その他	1,195,115	2,368,043
流動負債合計	11,424,819	12,213,815
固定負債		
長期借入金	11,085,516	9,271,076
リース債務	377,820	288,226
役員退職慰労引当金	393,665	408,665
退職給付に係る負債	796,210	798,982
その他	87,815	92,625
固定負債合計	12,741,028	10,859,577
負債合計	24,165,848	23,073,392

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	903,842	903,842
資本剰余金	900,444	900,444
利益剰余金	5,307,869	5,852,243
自己株式	3,633	3,633
株主資本合計	7,108,522	7,652,896
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	432,240	604,956
為替換算調整勘定	68,025	92,234
退職給付に係る調整累計額	922	2,774
その他の包括利益累計額合計	363,292	694,416
非支配株主持分	3,681	4,178
純資産合計	7,475,496	8,351,491
負債純資産合計	31,641,344	31,424,884

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)
売上高	18,051,712	19,616,931
売上原価	16,439,085	17,625,115
売上総利益	1,612,626	1,991,815
販売費及び一般管理費	1,294,661	1,407,403
営業利益	317,965	584,411
営業外収益		
受取利息	4,443	2,656
受取配当金	32,296	29,708
持分法による投資利益	-	37,259
為替差益	-	118,173
助成金収入	25,123	4,979
保険解約返戻金	18,934	63,962
その他	43,579	56,432
営業外収益合計	124,377	313,172
営業外費用		
支払利息	52,692	43,856
固定資産除売却損	2,186	9,638
為替差損	29,349	-
その他	25,077	11,155
営業外費用合計	109,306	64,651
経常利益	333,036	832,933
特別利益		
補助金収入	60,318	115,806
出資金清算益	-	40,242
特別利益合計	60,318	156,049
税金等調整前四半期純利益	393,355	988,982
法人税、住民税及び事業税	142,124	337,359
法人税等調整額	14,628	84,088
法人税等合計	127,496	253,271
四半期純利益	265,859	735,711
非支配株主に帰属する四半期純利益	104	230
親会社株主に帰属する四半期純利益	265,755	735,480

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	265,859	735,711
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	142,965	172,716
為替換算調整勘定	18,254	160,527
退職給付に係る調整額	9,442	1,852
その他の包括利益合計	170,662	331,391
四半期包括利益	95,196	1,067,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	95,139	1,066,605
非支配株主に係る四半期包括利益	57	497

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、重要性が高まったため、N&Aテック株式会社を持分法の適用範囲に含めております。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載しました新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
N&Aテック株式会社(連帯保証)	200,000千円	168,000千円
株式会社チームルマン(連帯保証)	88,000	70,000
蘇州双友汽车零部件有限公司(連帯保証)	132,111	128,180
計	420,111	366,180

外貨建保証債務は、決算時の為替相場によって換算しています。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年12月1日 至2021年8月31日)
減価償却費	1,138,603千円	1,449,733千円
のれんの償却額	35,971	35,971

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年2月27日 定時株主総会	普通株式	165,576	29	2019年11月30日	2020年2月28日	利益剰余金
2020年6月25日 取締役会	普通株式	22,838	4	2020年5月31日	2020年7月28日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年2月25日 定時株主総会	普通株式	68,514	12	2020年11月30日	2021年2月26日	利益剰余金
2021年6月24日 取締役会	普通株式	85,643	15	2021年5月31日	2021年7月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車部品 事業	制御シス テム事業	ロボットシ ステム事業	モーター スポーツ事業	賃貸及び太 陽光事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	12,366,560	2,101,132	3,002,654	475,232	106,131	18,051,712	-	18,051,712
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	101,120	117,487	-	274,236	492,844	492,844	-
計	12,366,560	2,202,253	3,120,142	475,232	380,367	18,544,556	492,844	18,051,712
セグメント利益又は損失 ()	78,706	158,611	187,400	154,752	46,379	316,345	1,620	317,965

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額1,620千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車部品 事業	制御シス テム事業	ロボットシ ステム事業	モーター スポーツ事業	賃貸及び太 陽光事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	14,516,419	2,118,640	2,166,046	701,981	113,842	19,616,931	-	19,616,931
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	85,620	130,988	-	249,721	466,329	466,329	-
計	14,516,419	2,204,260	2,297,034	701,981	363,563	20,083,261	466,329	19,616,931
セグメント利益又は損失 ()	452,364	112,059	66,949	13,926	71,390	582,791	1,620	584,411

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額1,620千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり四半期純利益	46円55銭	128円82銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	265,755	735,480
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益(千円)	265,755	735,480
普通株式の期中平均株式数(株)	5,709,547	5,709,547

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません

2【その他】

2021年6月24日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....85,643千円

(ロ) 1株当たりの金額.....15円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2021年7月30日

(注) 2021年5月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年10月7日

アスカ株式会社

取締役会 御中

監査法人コスモス

愛知県名古屋市

代表社員
業務執行社員 公認会計士 富田 昌樹

業務執行社員 公認会計士 相羽 美香子

業務執行社員 公認会計士 長坂 尚徳

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアスカ株式会社の2020年12月1日から2021年11月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2021年6月1日から2021年8月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年12月1日から2021年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アスカ株式会社及び連結子会社の2021年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人

の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれておりません。